

メトトレキサート使用基準（改訂）

第 43 回県連薬事委員会（2006.12.16） 第 35 回県連薬事委員会事務局会議（2006.12.18）
第 56 回県連薬事委員会（2013.12.14）

禁忌	骨髄抑制、慢性肝疾患、腎障害（CCr 50mL/min 以下・透析） 妊婦、授乳婦、妊娠する可能性のある婦人（1 月経周期は妊娠をさける） 妊娠する可能性のある配偶者のいる男性（投与中・投与終了後 3 カ月間は配偶者の妊娠をさける） 胸水・腹水 <u>活動性結核</u> 肺繊維症・活動性の間質性肺炎の存在する患者
慎重投与	間質性肺炎、肺線維症等の肺障害又はその既往歴 感染症を合併、 <u>結核の既感染者</u> 、非ステロイド性抗炎症剤を投与中 水痘患者、アルコール常飲者、高齢者 小児・生殖可能な年齢の患者
併用禁忌	<u>生ワクチン接種</u>
併用注意	非ステロイド性抗炎症剤 テトラサイクリン・フェニトイン・プロベネシド・アスピリン・ S T 合剤、ペニシリン、シプロフロキサシン
投与前検査	胸部 X 線、胸部 CT（必要に応じ）、血液検査、肝機能・腎機能検査、尿検査、 結核に関する十分な問診、 HB 抗原、HCV 抗体、KL-6、β-Dグルカン、シスタチン C
投与中	発熱、咳嗽、呼吸困難、倦怠感、口内炎、激しい腹痛、嘔吐、下痢 4 週間ごとに血液検査、肝機能、腎機能検査、尿検査 3 ヶ月毎に KL-6、シスタチン C、胸部 X 線
異常時	胸部 X 線、胸部 C T、血液ガス、KL-6、β-Dグルカン

■薬剤師が実施する安全性確保業務、患者に渡す資料

リウマトレックスの書類を代用する

- ① リウマトレックスを服用する患者さんとそのご家族に（パンフレット）
- ② リウマトレックスカプセル 2mg を服用される患者ご家族の方へ（カード）
- ③ リウマトレックス手帳（初回投与時患者に渡す）
- ④ 「メトトレキサート副作用防止カード」（県連薬事委員会）
- ⑤ 使用基準

■患者が行う副作用チェック

乾性咳嗽、呼吸困難、息切れ、発熱、口内炎、全身倦怠感、咽頭痛、眠気

- 「メトトレキサート副作用防止カード」をお薬手帳に挟む
- 患者は前項の「メトトレキサート副作用防止カード」で、上記副作用症状の有無を記入及び受けた検査に○をつけ、受診時及び来局時見せる。

メトトレキサートを服用される方へ

メトトレキサートは、関節リウマチ治療の中心に位置づけられ広く使用されています。しかし、その優れた効果の一方で、生命に関わる副作用が認められた報告があります。

1. 次の患者さんには使用することができません

- ①白血球や赤血球、血小板の数が通常より少なく、これらを作る骨髄の働きが弱っている方
- ②肝臓に慢性の病気がある方
- ③腎臓の働きが弱っている方、透析中の方
- ④肺線維症（間質性肺炎）を起こしている方
- ⑤結核にかかっている方
- ⑥妊婦もしくは妊娠している可能性のある方・授乳中の方
- ⑦以前にメトトレキサートでアレルギー症状が出た方
- ⑧胸水や腹水がたまっている方

2. 次の患者さんには、十分注意しながら使用します

- ①肺線維症（間質性肺炎）を起こしたことがある方
- ②感染症を合併している方
- ③非ステロイド性消炎鎮痛薬を服用中の方
- ④ひんぱんにアルコールをのんでいる方
- ⑤高齢者（75歳以上）の方
- ⑥過去に結核にかかったことのある方

3. 使用する前に、次の検査を行い、安全に使用できるか確認します

- ①血液検査 ②腎機能検査 ③肝機能検査 ④B型・C型肝炎の検査 ⑤尿検査
- ⑥アルブミン ⑦胸部レントゲン、KL-6、 β -Dグルカン
- ⑧結核に関する十分な問診

4. 使用中、定期的に次の検査を行います

- ①4週間毎に血液検査・腎機能検査・肝機能検査・アルブミン
- ②3ヶ月毎にシスタチンC、KL-6、胸部X線

5. 以下に示す症状が出てきたら、予約診療日にかかわらず受診してください 咳、呼吸が苦しい、息切れがする、発熱、口内炎、全身がだるい、喉が痛い

6. メトトレキサート副作用防止カードに記載してください

お薬手帳にはさんでお渡しする、メトトレキサート副作用防止カードに必要事項を記載し、診察時に医師に、お薬をお渡しする時に薬剤師に見せて下さい。

年 月 日 () 病院・診療所 医師 ()